

株式会社エンヤで塗装職人として働く竹田さん。「高校の長期休暇中に作業を手伝ったことが入社の一歩でした。インターンシップで経験したの職種より時間を忘れて没頭することができた」と振り返ります。

外見をきれいにするだけでなく、防腐・防水効果などで建物を長持ちさせるためにも必要な建物塗装。「仕事の出来は養生で決まる」という、父である親方からの教えを守り、塗装前に塗料が付かないように保護する「養生」などの下準備から、細部

同業者からも認められる職人に



勤務先 株式会社エンヤ
たけだ なおと
竹田 直人 さん
(23 歳・男山)

に至るまで心を配って作業をします。「多くの人の目につき、自分の成果が形として残る仕事にやりがいを感じる」と表情を緩める竹田さん。「応援に行った現場などで頼りにされ、同業者からも認められるような職人になりたい」と意欲をみせます。

今後の目標について尋ねると、「効率を高めて作業スピードをあげること。また、積極的に知識や技術を身につけ、よりお客さんの要望に応えられるような仕事をしていきたいです」と笑顔で話してくれました。

強くて「愛されるチーム」に

幼少期から父親や友人とボールを蹴って遊ぶなど競技に親しんできた山本くん。もつとまくなりたいと、中学校に入ると迷わずサッカー部に入学し、昨夏からはキャプテンとして部員13人の同部を引っ張っています。

「学年の隔たりなく、全員仲が良いのがチームの特徴です。練習中には互いにアドバイスの声を掛け合い、全体のレベルアップに努めています」

新チーム発足時に部で掲げた目標は、「愛されるチーム」になること。「周りから応援、期待されるようなチーム



サッカー部 キャプテン
やまもと たいせい
山本 泰成 くん
(小浜中学校 2 年生)

ムが強いチームだとみんな考えてこれに決めました」と力を込めます。

「部活外においても自覚ある行動を心掛けて」と話す山本くん。「キャプテンを務めることで、人前に立つ機会が増えるなど、技術面以外でも自身の成長につながっています」

冬季の現在、特に力を入れているのは体力トレーニングなどの基礎練習。「地道でつらいメニューが多いが、夏の大会では積み重ねた成果を発揮し、若狭地区で優勝、県大会での一勝を目指したい」と意欲をみせました。



国分文化財愛護少年団 世話役
なかがわ けんいち
中川 健一 さん
(57 歳・国分)

国分文化財愛護少年団は、子どもたちに歴史文化への愛着や郷土愛を深めてもらおうと、昭和44年に県内で最も早く発足。現在も4人の団員が、年3回の文化財清掃などを行っています。

世話役の中川さんは、同団の活動について「子どもたちにとっては、文化財に直接触れることはもちろん、学年を超えた縦のつながりや、雑巾がけなどの昔ながらの清掃の仕方など、貴重な経験を得られる機会」と話します。

「小学1年生で入団した団員が6年生で退団するまで、そばで見ている

と、成長ぶりを間近で感じられることがやりがいです」という中川さん。結成50周年を迎えた昨年を振り返り「竜前区の文化財愛護少年団と初めて共同で清掃活動をしたり、地元新聞社の表彰を受けたりするなど、節目としてふさわしい年にできた。これも地域や保護者の協力があったこそ」と、周囲への感謝を語ります。

今後の抱負を尋ねると「今は少子化で団員も少ないが、これからも地域の文化財を守り伝え続けていきたいですね」と、笑顔で答えてくれました。

「誰かのために」と活動に励む

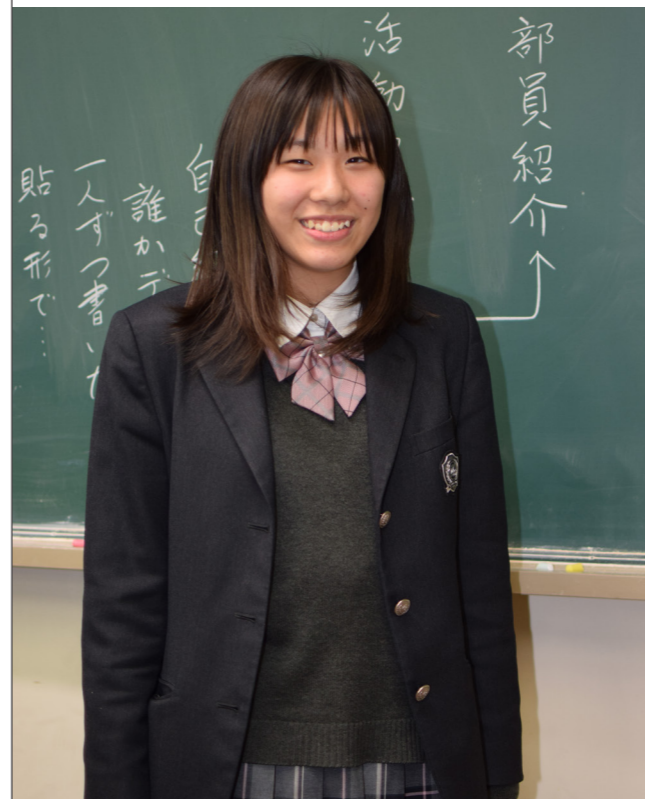
校内の清掃活動やペットボトルキャップの回収など、ボランティア活動に取り組む若狭東高校JRC部部長の森本さんは、1年生の秋に、当時の3年生が引退し部員がいなくなっていた同部に入部しました。

「誰かのために何かをやるのが好き。自分の手できれいにした学校を見たときや、先生方が活動を見て声を掛けてくださったときの達成感がやりがいです」と話す森本さん。

1人でもコツコツと活動を続けた結果、現在は部員も増え、森本さん

を含めた1・2年生7人が在籍しています。「人数が増えたことで、部長として部員たちのやりたいことや意見をまとめるのが大変」とはにかみつつも、「今は目が届いていないところにも清掃の手を伸ばすなど、もつと積極的に活動の幅を広げていきたい」と意欲をみせます。

「将来はお年寄りを支える介護士になりたい」と、専門学校進学を目指し勉強に励む森本さん。「誰かのために」という思いを胸に、今日も学校を、そして自分を磨いています。



JRC部 部長
もりもと ひめあ
森本 妃彩 さん
(若狭東高校 2 年生)

御食国 若狭おばまの 食材めぐり

■問い合わせ 農林水産課 ☎ 64・6024

第5回

へしこなれずし

サバなどの魚をぬかと塩で漬け込んだ「へしこ」と、ごはんとうじを詰めさらに発酵させた「へしこなれずし」は、ともに小浜の伝統的な発酵食品。厳しく冷え込むこの時期、暖かくした部屋で夕飯のおかず、あるいは酒のさかなに楽しむ人も多いのではないのでしょうか。

内外海地区の矢代区と田島区では、平成31年1月に、昔ながらのへしこなれずしの製法を守ってきた生産者が集まり、作り手によって微妙に異なっていた製法を統一。「内外海本づくり」と銘打ち生産を始めました。

その製法は、国産のサバのみを使い、食品添加物は一切使用せず、へしこは1年以上漬け込むといったもの。

旧田島小学校を改修した施設「さかなの学校 うちとみキッチン kitchen」などでは、こだわり抜いた伝統製法による加工の最盛期を迎えています。



【写真】(上) へしこなれずし (左) サバをへしこに加工するため、塩漬ける生産者

【生産者の思い】

昔ながらの製法で丁寧に作られたへしこなれずしは、臭みがほとんどなく、天然由来の旨味と甘みが特徴です。軽く焼いて食べると、香ばしい香りが口の中で広がり、さらにおいしくなります。

知ってほしい、役に立つ事業をキリトリ！

市役所 お仕事ファイル

小浜市の就職支援は「オール福井」体制でサポート！

■問い合わせ 商工観光課 ☎ 53・9705

地元での就職は 持続的な発展のカギ

人口減少が急速に進む中、全国的に人手不足が強まっております。本市においても、業種を問わず担い手が不足しています。今後小浜が持続的に発展していくためには、地元出身者が地元で就職することで、産業の活性化を図ることが重要となります。そこで本市では、県内市町や企業など、関係機関と連携し、「オール福井」体制で、就職活動中の人に対するさまざまな支援を行っています。

就活イベント

合同企業説明会

ふるさとジョブフェア in ふくい嶺南

【と き】3月7日(土) 13時～16時30分

【と ころ】きらめきみなと館(敦賀市)

【参加企業】91社

※入場無料、申込不要

～就職活動に対する支援策を紹介します～

嶺南6市町の就職支援担当が情報を随時発信！

「若狭 de 就活！」

県内はもちろん、進学などで県外で生活している人にもタイムリーに地元就職情報をお届けする、SNSを活用した情報発信を行っています。



LINE



twitter



facebook



若狭 de 就活! の各種 SNS アカウントの QR コード (左) と Facebook 掲載ページのイメージ (右)

気軽に会って、企業を知ろう！

企業と学生との交流イベントを開催

市では、地元企業を知ってもらおうと、気軽な気持ちで参加できる学生と企業との交流イベントを開催しています。

先輩社会人とフリートークしながら、志望する業界や地元企業の情報を入手したり、働く現場での生の声を聞いたりすることができます。

昨年末には第1弾「縁 Job ふくい嶺南」を開催

嶺南地域に事業所がある製造業や金融業などの企業が出展。参加した学生たちは、業務内容や休日の過ごし方を尋ねたり、その場で企業のインターンシップに申し込みをしたりと、積極的な交流を行いました。



先輩社会人と交流する学生たち



学生たちの声

「縁 Job ふくい嶺南」に参加した学生たちに感想を聞きました。

社会人の先輩と直接触れ合える機会はなかなかないので、いい経験になった

まだ志望の業界などは定まっていませんが、これを機にやりたいことを見つけた

健康 生活のつづら

「沈黙の臓器」

肝臓の障害について

「肝障害」の原因はさまざま

健康診断で肝臓の状態を示す値が基準値より高いと診断され、消化器内科を受診する人は比較的多いのではないのでしょうか。この値が高いことは「肝障害」と呼ばれ、原因はさまざまです。中でも生活習慣の欧米化に伴い、非アルコール性脂肪性肝疾患 (NAFLD) は今後増加が予想されます。

肝硬変や肝臓がんの原因にも

肝臓に脂肪が沈着する脂肪肝は習慣的に多くの飲酒をする人がなるアルコール性脂肪肝と、アルコールをあまり飲まない人がなる NAFLD に分類されます。NAFLD を放っておくと肝硬変や肝臓がんの原因となる非アルコール性脂肪肝炎 (NASH) に進行します。NASH においては肝臓に脂肪が沈着することで炎症が引き起こされます。肝臓の細胞は炎症で壊れてもすぐに再生しますが、それを繰り返していくうちに再生できなくなる状況になっ



内科 齊藤 恭志 医師

杉田玄白記念 公立小浜病院 ■問い合わせ ☎ 52・0990

てしまうことがあります。その状態を肝硬変と言い、腹水や黄疸といった症状が出始めます。また、その過程で肝臓がんができてしまう場合もあります。

これまで肝臓がんは肝炎ウイルスによるものがほとんどでしたが、ウイルス治療の進歩により、これらに起因する肝臓がんが減少する一方で、今後は NASH 由来の原因とした肝臓がん患者が増加することが予想されています。

生活習慣の改善が治療の基本

肝臓は病気がある程度進行しないと症状が出ないことから、「沈黙の臓器」と呼ばれています。そのため、検診で肝障害を指摘された場合、血液検査や画像検査などを行い、肝臓の状態を評価することが非常に大切です。NASH を含めた NAFLD は、いわゆる生活習慣病の一つなので、生活習慣を改善することが治療の基本になります。